

保護者や地域が自ら考える 子供たちにとってのより良い学びの場

鹿児島県志布志市教育委員会
教育総務課 児玉雅史

R7.1.22

第3回地域版信州学び円卓会議

鹿児島県志布志市の概要

志 布志市は、鹿児島県の東部、宮崎県との県境に位置し、緑豊かな山々、清らかな川、そして美しい海岸線（日南海岸国定公園に指定）が自慢のまちです。志布志港は九州唯一の国際バルク戦略港湾としての整備が進み、東九州自動車道や都城志布志道路の開通により、さらなる発展が期待されます。

志 布志市のもう一つの魅力は、美味しい食べ物が豊富に揃っていることです。地元で栽培される野菜や果物、漁師が水揚げする新鮮な海の幸など、地元の食材を活かした料理を楽しめます。また、地元ならではの楽しいお祭りなど、イベントも盛んに行われています。

美味しい食べ物や地域の文化を通じて人々との交流を深め、自然と笑顔になる❖
それがこの志布志市です。

人口 / 28,886人
男性 13,839人
女性 15,047人

世帯数 / 15,097世帯

※2024年3月31日現在



<自己紹介>
登山愛好家
2024.7針ノ木岳



小学校の推移

現在

小学校 16校 (小規模特認校3校含む)
中学校 5校
合計 21校

R6.4

H27.3

休校中の四浦小学校廃校
(新入学児童見込みなし)

H26.3

田之浦中学校・出水中学校
廃校
(学校再編計画に基づく統合編入)

H23.3

八野小学校
廃校
(公民館・PTAからの陳情)

H21.3

四浦小学校
休校

H18.1

3町合併時 (松山町 志布志町 有明町)
小学校 18校
中学校 7校
合計 25校

志布志市 Shibushi City



松山地区

松山中学校	106人
松山小学校	64人
泰野小学校	46人
尾野見小学校	65人

<令和6年4月現在 児童生徒数>

<令和6年9月>
学校の在り方検討委員会設置
↓
今後の学校の在り方について協議を推進

志布志地区

志布志中学校	404人
志布志小学校	266人
香月小学校	231人
安楽小学校	252人
特 潤ヶ野小学校	29人
特 田之浦小学校	24人
特 森山小学校	15人

H26.3廃校

田之浦中学校
田之浦小学校
森山小学校
四浦小学校 (廃校)

H26.3廃校

出水中学校
潤ヶ野小学校
八野小学校 (廃校)

有明地区

伊崎田中学校	43人
伊崎田小学校	64人

有明中学校	128人
有明小学校	150人
通山小学校	126人

宇都中学校	134人
原田小学校	45人
蓬原小学校	76人
野神小学校	109人
山重小学校	50人

<令和8年4月>
施設一体型小中一貫校
「伊崎田学園」

<令和10年4月>
県立特別支援学校 開校

隣接した施設でインクルーシブ教育の推進

令和4年度の取組

将来的な児童生徒数の減少（令和4年4月）

「より良い学びの場の在り方」の
検討を始めた時期

令和4年4月1日現在 学年平均の児童数 約290人

令和2年度出生数 178人

令和3年度出生数 180人

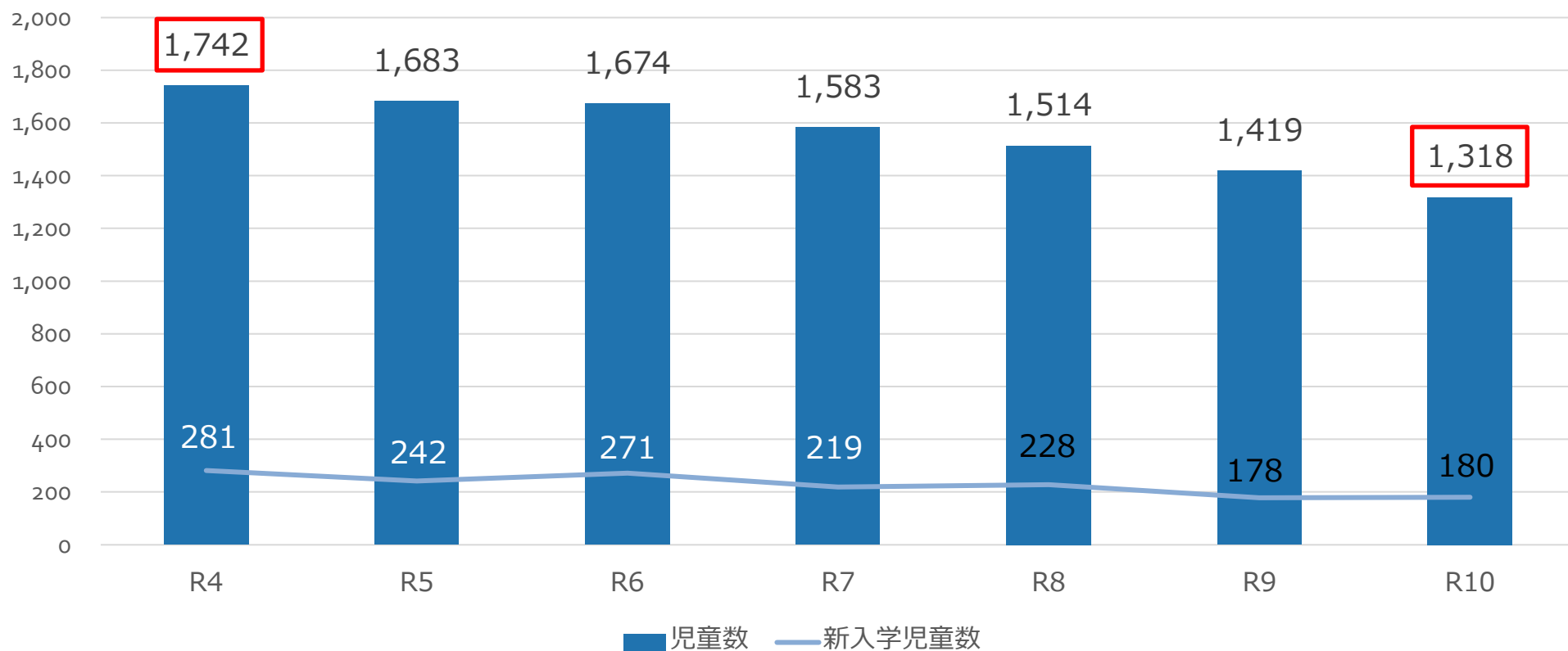
令和4年の学年平均の児童数と比較し、2年連続で100人以上減少

今後6年間で急激に小学校の児童数の減少が見込まれる。

今後の児童数の推移

6年後市全体で
児童数が424人、24.3%減少

この事実を市民と共有する！



アカウンタビリティ（説明責任）を果たした上で、共に考える

01 検討

急激な児童数の減少が見込まれ、学校の在り方を検討すべき時期にある。

02 基本

児童数の減少に伴う学校の在り方については、保護者や地域の意見を基に、進めていく必要がある。

03 情報提供

適切な情報提供を行うことにより、どれだけ保護者や地域にこの現状が伝わり、考えていただけるか。

04 説明

まずは、この急激な児童数の減少を当事者である小学校の保護者に説明し、「自分事」として考えてもらう必要がある（全16校、R4.6～8）。
【1回目の説明】

05 保護者の意見集約

なぜ保護者から？・・・地域を優先すると保護者からの意見が出にくくなるおそれがあることから、まずは、当事者である保護者の意見集約を先に行う。

保護者等の反応と更なる周知

01 意見

保護者の意見・・・

児童数の減少を数値で見ると現実味が増した。少子化対策が急務では。学校の在り方を考える時期にきている。 など

02 協働

松山地区は、松山中学校区の3つの小学校の保護者と地域が協働して、自主的な検討委員会の立上げ

03 周知

今後の児童数の推移について、更なる周知が必要・・・
地域住民、議会などへ

04 見える化

地域おこし協力隊の協力を得て、今後の学校の在り方に関する動画を作成し、YouTubeにアップロード

05 アンケート

児童及び未就学児童の保護者に視聴していただいた上で、学校の在り方を検討する際の参考にするため、WEBアンケートを実施

みんなで考えよう人口減少 私たちの学校は？

【松山中学校区篇】みんなで考えよう人口減少~減少共有

みんなで考えよう 人口減少共有

私たちの学校は？

松山  校区

見る  YouTube

The image is a composite graphic. At the top, a chalkboard background contains the title '【松山中学校区篇】みんなで考えよう人口減少~減少共有' and the main question 'みんなで考えよう 人口減少共有' and '私たちの学校は？'. Below the text, the words '松山' and '校区' are written in green chalk, separated by a red YouTube play button icon. To the right of the chalkboard, a man with glasses and a dark suit is shown from the chest up. At the bottom, there are three small rectangular video thumbnails showing different views of school buildings and a sports field. A black bar at the bottom left contains the text '見る' and the YouTube logo.

WEBアンケートの概要

問 今後、学校の在り方について検討が必要だと思いますか。

児童の保護者	81.7%		未就学児の保護者	79.1%	
	回答者数	構成比		回答者数	構成比
すぐに必要	161	22.9%	すぐに必要	57	20.1%
将来的には必要	414	58.8%	将来的には必要	167	59.0%
必要ない	36	5.1%	必要ない	15	5.3%
分からない	93	13.2%	分からない	44	15.5%
計	704	100%	計	283	100%

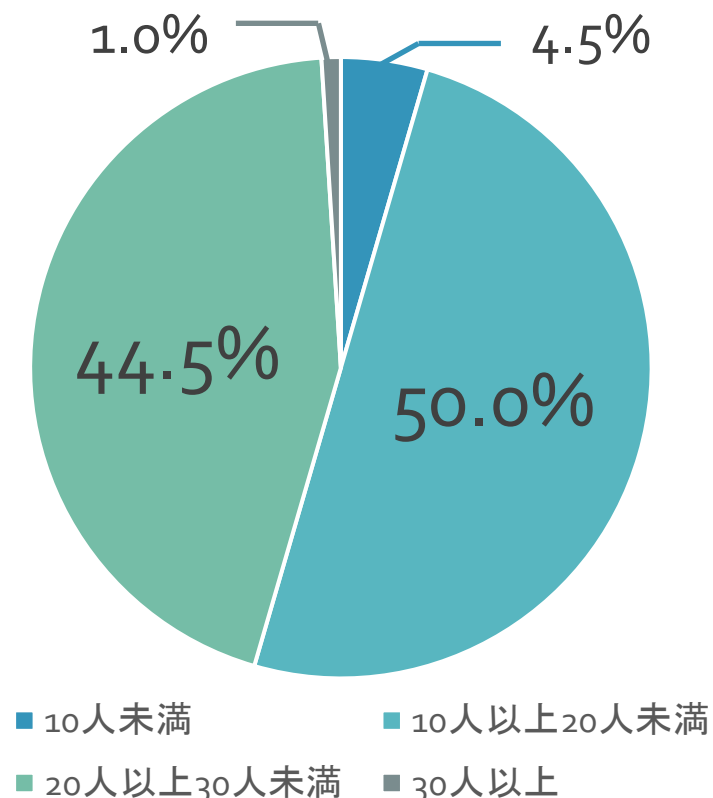
今後、学校の在り方についての検討が、「すぐに必要」、「将来的には必要」との回答が**児童の保護者81.7%、未就学児の保護者79.1%、合計で80.95%**の保護者が教育環境について検討が必要と感じています。

WEBアンケートの概要

問 1クラス当たりの児童数は、何人ぐらいが良いと思いますか。

	回答数	構成比
10人未満	32	4.5%
10人以上20人未満	352	50.0%
20人以上30人未満	313	44.5%
30人以上	7	1.0%
計	704	100%

1クラス当たりの児童数は、保護者の50.0%が「10人以上20人未満」を、44.5%が「20人以上30人未満」を望んでいます。



令和5年度の取組

保護者や地域が自ら考える子供たちにとっての より良い学び場（令和5年度）

令和4年度出生数 162人

3年連続で100人以上減少（令和4年4月現在の児童数 学年平均約290人）

今後の児童数の推移をアップデートし、WEBアンケート結果とともに公表

全16校の小学校の学校運営協議会において、今後の児童数の推移とアンケート結果を説明（R5.6～9）【2回目の説明】

今後児童が減少する中で、保護者や地域の方々に「自分事」として捉えていただく

令和6年度の取組

市と地域等の取組（松山地区小中学校）

R6.7

松山中学校区（3小学校）の今後の学校の在り方について、地域コミュニティ協議会から市長・教育長に支援の要請

R6.9

要請を受け、当該地域の方々や保護者などを構成委員とする「松山地域の学校の在り方検討委員会」の設置に向けて、報償費（委員謝金）の補正予算をR6.9定例会に提案

R6.9

松山地域の学校の在り方検討委員会を設置し、保護者や地域の方々と共に、学校の在り方について協議を推進

R6.11

松山地区でアンケートを実施

WEBアンケートの概要

問 今後、学校の在り方についてどのように思われますか。

児童の保護者

	回答者数	構成比
今のまま統合しない方が良い	19	13.8%
小学校3校のみを統合する方が良い	62	44.9%
小・中学校を統合し、一貫校とする方が良い	48	34.8%
分からない	7	5.1%
その他	2	1.4%
計	138	100%

79.7%

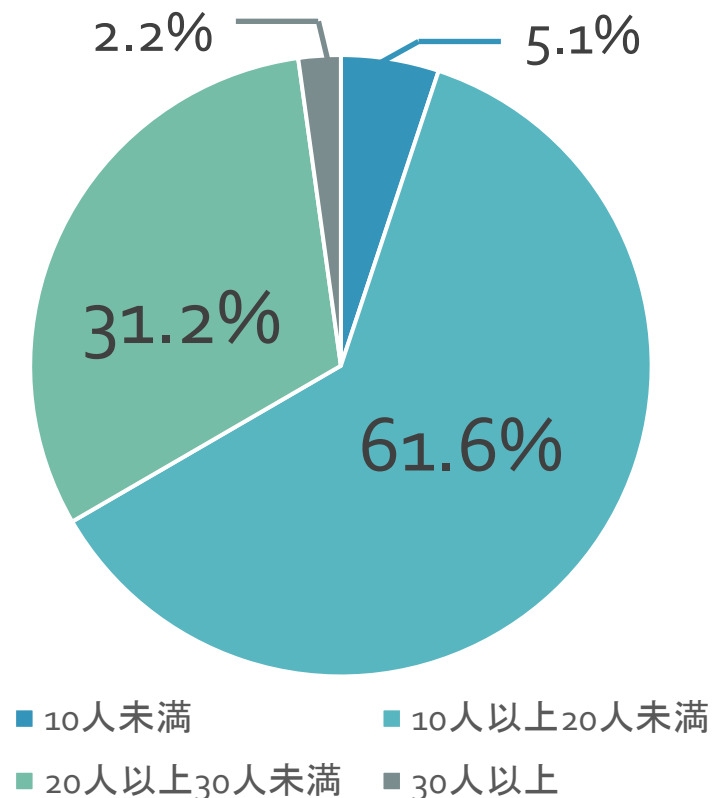
今後、学校の在り方についての検討が、「小学校3校のみを統合する方が良い」が最も多く、44.9%となり、次いで「小学校3校と中学校を統合し、一貫校（義務教育学校）とする方が良い」との回答が34.8%となりました。合計で79.7%の保護者が統合する方が良いと考えています。

WEBアンケートの概要

問 1クラス当たりの児童数は、何人ぐらいが良いと思いますか。

	回答数	構成比
10人未満	7	5.1%
10人以上20人未満	85	61.6%
20人以上30人未満	43	31.2%
30人以上	3	2.2%
計	138	100%

1クラス当たりの児童数は、保護者の61.6%が「10人以上20人未満」を、31.2%が「20人以上30人未満」を望んでいます。



松山地域の学校の在り方検討委員会での検討

- 第2回検討委員会において、「今後の方向性について」次の4つの項目を地域や学校等に持ち帰って協議していただくよう依頼
- その結果を今月末に開催予定の第3回検討委員会で協議

0 1 統合の可否

- (1) 統合する
- (2) 統合しない

0 2 統合の形態

- (1) 小学校のみ統合
- (2) 小中一貫校(義務教育学校を含む)

0 3 統合後の学校の位置

小学校のみ統合の場合の位置
(小中一貫校の場合は、
現在の松山中学校)

0 4 統合の時期

- (1) 小学校のみの場合: 令和8年4月から可能
- (2) 小中一貫校の場合: 最短で令和11年4月

今後の方針

本年度（R7.3見込み）策定する「第2次志布志市教育振興基本計画後期基本計画（R7～R11）」において、市全体の今後の学校の在り方に関する方針を定める。

素案

『6年後（令和12年度）に児童数が「1学年20人程度」を下回る見込みとなっている小学校』は、学校の在り方について保護者や地域等での議論に向けて意識醸成を図る。

児童数の減少を保護者と地域が自分事として捉えていただき、引き続き、主体的な学校の在り方の協議を支援することにより、将来の創り手となる子供たちにとってより良い学びの場を一緒になって考えていく。

志布志市が取組を進める上で大切にしていること

行政効率ではなく「より良い学びの場を共に考える」という姿勢

保護者と地域が主体的に考えてもらえる取組（特に当事者である保護者の意見が反映される仕組み）

「やってくれ」と言われると力が出ない

「やろう」と思うと力が出る

その地域に合った適正規模（保護者が思う適正規模）

施策を決定する人の柔軟な考え



ふるさと納税は
志布志へ



志布志市
ふるさと納税

SHIBUSHI
KAGOSHIMA, JAPAN



ご清聴ありがとうございました